

【氏 名】南 孝典 (ミナ 効典)

【職 名】准教授、キャリアセンター長

【学 位】修士 (教育学、社会学)

【生年月日】昭和 50 (1975) 年 2 月 13 日

【本学就任】令和 4 (2022) 年 4 月 1 日

【略 歴】文教大学人間科学部卒業

埼玉大学大学院教育学研究科修士課程修了

一橋大学大学院社会学研究科博士前期課程修了

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得修了

【専門分野】哲学、倫理学、社会学

【担当科目】哲学、倫理学 (倫理学 A)、西洋哲学史 A・B、ゼミナール I・II、社会学、論理学、現代社会事象、西洋思想史、キャリア演習 A・B

【所属学会】日本哲学会、一橋大学哲学・社会思想学会、唯物論研究協会、東京唯物論研究会

【研究テーマ】生命倫理、現象学、存在論

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「フッサー現象学を理解する際の避けがたい困難さについて」	『国学院大学北海道短期大学部紀要』40	令和 5 年 3 月
著書	共著	『生命の倫理学』	大月書店	令和 5 年 3 月

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「フッサーにとってカントを語ることの意義とは何か——『危機』と関連草稿における「カント批判」を中心に——」	『フッサー研究』6	平成 20 年 3 月
著書	共著	『西洋哲学の軌跡』	晃洋書房	平成 24 年 4 月
単著	共著	『危機に対峙する思考』	粹出版	平成 27 年 10 月
論文	単著	「事物からではなく世界から思考すること——フインクのカント論に関する一考察」	『唯物論研究年誌』23	平成 30 年 11 月

【最近の社会的活動】